

佐久市立中央図書館建替再整備基本構想（素案）に対する 意見募集の実施結果

1 意見募集の概要

（１）案件のタイトル

佐久市立中央図書館建替再整備基本構想（素案）

（２）募集期間

令和６年12月12日（木）から令和７年１月12日（日）まで

（３）案件の公表方法

- ・ 佐久市ホームページへの掲載
- ・ 佐久市役所本庁市民ホール、中央図書館、サングリモ中込図書館、臼田図書館、浅科図書館、望月図書館、各支所総務税務係の窓口に関連用として設置

（４）募集方法

郵送・電子メール・ファックス・ながの電子申請サービス・直接持参（中央図書館、サングリモ中込図書館、臼田図書館、浅科図書館、望月図書館、各支所総務税務係の窓口）

2 意見募集の結果

（１）提出された意見

ア 提出者数 35名

イ 提出件数 105件

（２）提出された意見の概要

いただいたご意見は、見解を示すために都合上、別紙のとおり内容別に分類しました。
回答にあたっては、内容ごとに回答します。

内 容		意見数
1 文言や表現に関して		2
2 新図書館に対する要望		77
2-1 図書館の在り方		20
(1) 魅力的で快適な図書館		4
(2) まちづくりの核・住んでよかったと思える図書館・市民の誇りとなる図書館		4
(3) 生涯学習施設・社会教育施設		2
(4) 図書館という範疇を超えた「情報センター」的な施設に		1
(5) 交流・コミュニティの形成		1
(6) 子ども		1
(7) 市民との協働		2
(8) 市民活動の拠点		1
(9) 連携事業		3
(10) 公文書館		1
2-2 建物		6
(1) 施設（全体）		6
2-3 館内スペース		14
(1) 基本的なスペース		7
(2) 各スペースの在り方		7
2-4 設備		7
(1) 机と椅子、自動貸出機・予約棚、トイレ、Wi-Fi		6
(2) メタバース（インターネット上に構築された仮想空間）を活用した蔵書のシステム		1
2-5 併設するとよい施設・コーナー		5
(1) 併設するとよい施設・コーナー		5
2-6 図書館資料		8
(1) 図書館資料		8
2-7 図書館サービス		1
(1) 図書館サービス		1
2-8 職員		6
(1) 職員		6
2-9 財政措置		1
(1) 財政措置		1
2-10 全域サービス・佐久地域の資料共有		2
(1) 全域サービス・佐久地域の資料共有		2
2-11 現在の図書館の課題		5
(1) 課題・課題（とりくめること）		5
2-12 基本構想・基本方針		2
(1) 基本計画の進め方・今後の図書館づくり		1
(2) 基本方針について		1
3 建設場所について		13
4 佐久創造館関係		7
5 その他		6
合 計		105

(3) 提出された意見とそれに対する回答

分類1 文言や表現に関して

1-1 正しい情報を取捨選択できる力の育成

【意見 1-1】正しい情報を取捨選択できる力の育成

P23 6つの基本方針

・ネットで真偽不明の情報や意図的なフェイク情報が飛び交う時代に、その中から正しい情報を取捨選択できるスキルは市民が生きていくうえで最も大切な力の一つだと思う。その力を育てるのは図書館の重要な役割だと思うので、「基本方針3」の中にそのことを記載してほしい。

【回答 1-1】正しい情報を取捨選択できる力の育成

膨大な情報が氾濫する現代社会において、正しい情報を取捨選択する力は必要不可欠となっています。基本方針3の文章の中に情報リテラシーについて記載します。

1-2 基本方針を実現するための基盤整備

【意見 1-2】基本方針を実現するための基盤整備

P24 基本方針を実現するための基盤整備

・図書館の価値を決める最も大切な要素は、建物のつくりや立地以上に、そこで働く職員の専門性だと思うので、専門的なスキルを持つ司書の配置や育成方針について、ぜひ書き込んでいただきたい。
・新図書館を引っ張っていく立場の館長が思う存分手腕を発揮できるよう正規職員として任用してほしい。

【回答 1-2】基本方針を実現するための基盤整備

現在の図書館活動を活発にし、新図書館の準備を進めていくためには、司書資格のある職員の配置や職員のスキルアップを図るなど、体制を整えていくことが重要です。その内容について素案の本文に記載します。

新図書館建築を控え、図書館長は改革をリードしていく大きな役割を持っており、任用につきましては慎重に検討してまいります。

分類2 新図書館に対する要望

2-1 図書館の在り方

【意見 2-1- (1)】魅力的で快適な図書館

行きたくなる魅力的な「場所」に

どんな図書館にすべきかのコンセプトとして、情報を知り、知的好奇心を満たし、心の豊かさを実感できる場所であってほしい。

天井を高くすることも空間を演出する最大要因だと思うが、図書館という空間でゆっくり本を読むことができる工夫を望む。各所に、本を楽しむための机といすは必須。

学生が、気軽に勉強に立ち寄れるように、学習できる空間も必須。

小さい子どもが、ワンダーランドにやってきたようなワクワク感を感じられるような児童書・絵本の部屋も必須。

佐久地域を紹介する部屋も必須。歴史や文化、偉人をその場所に行けばゲットできる施設が佐久市内に見当たらないことも鑑みて、これは地域愛、地域への関心を深めるためにも必須だと痛感している。

石川県立図書館

郊外型の図書館であれば、この図書館が群を抜いている。県立と市立では比較にならないかもしれないが、ぜひこのようなワクワクする図書館にしてほしい。

特にテレワークのできる様々なスペースがあるところは、フリーランスとして仕事場を選ばない身としては、絶大な魅力。また、バスの便も多く駐車場も広大で郊外型として必要な交通機関も充実している。ただ、飲食店が館内のカフェしかないところが、唯一の難点か。

図書館が「仕事場、創作の場」となることを望んでいる。

現在は本を借りてすぐ帰るだけの施設で、さみしい。

施設の狭さや暗さ、老朽化に関しては多くの皆さんが訴えてらっしゃる意見と同じ。

広く、明るく、椅子も机も快適な閲覧室があり、軽食・美味しいコーヒーやお茶が楽しめる飲食テナントがある図書館を望む。丸一日、館内で過ごせるのが理想。

閲覧室は、窓口に許可をもらって制限時間内で使用するような管理型ではなく、フリーアドレスの、とにかく広い空間を望む。

今どき、PC 禁止、電源使用禁止なんて言わないでほしい。Wi-Fi 環境も整えていただきたい。

図書館が新しくなるのはとても嬉しい。

せっかく公園の中にあるのだから子供向けのお話の会など、木漏れ日の下でできるといい。

コーヒーや紅茶の香りのする図書館も素敵。

美味しいパンと温かいスープなど学生さんたちが勉強するのに小腹がすいたら食べられる場所もあったらいいと思う。

せっかく新しくなるのであれば、市外の方々も行きたくなるような図書館を目指してほしい。

【回答 2-1- (1)】魅力的で快適な図書館

魅力的な図書館についてご意見をいただきました。いただいたご意見は、今後の基本計画策定に活かしてまいります。

【意見 2-1- (2)】 まちづくりの核・住んでよかったと思える図書館・市民の誇りとなる図書館

佐久市の位置づけ

東京駅から新幹線で 69 分という交通アクセスの良さから、移住先としても注目を集めている佐久市だが、豊かな自然環境に加え、特色のある学校群が増えていることも一つの要因となっている。子ども教育に留まらず、自ら学ぶ社会人を支えるインフラとして図書館機能の充実を図ることは地域の経済発展の礎ともなりうる重要施策と思われる。

さすが佐久市、住んでいてよかった！と思える施設に

佐久市に移住して非常に残念に思うことは、図書館の魅力の低さと地域の歴史を発信する場所がないこと。地域のことを知りたくても、そのすべが薄いことは、この地域で培われてきたであろう歴史、尽力してきた人たちを知る機会も与えてもらえないということだと思う。博物館は次の課題としても、せめて図書館こそここに住んで本当に良かったと心から思えるような施設を望む！！

図書館こそ、豊かにこの地域で暮らすための最重要施設である。

今回素案のメインコンセプト「みつける そだてる ひろげる」および6つの基本方針に沿った新たな、全国に自慢できる佐久市に住む一人ひとりが自分の図書館だと思えるような図書館の実現によって子育て世代の定住促進にも寄与できるものとする。前例に囚われることなく斬新な図書館の実現を切に希望する。

自らの出身地である佐久市に単身Uターンをしたが、塩尻市のような充実した図書館となっていないことを非常に残念に思っている。皆様の叡智を結集して素晴らしい街づくりの核となるような施設となることを切に願っている。

【回答 2-1- (2)】 まちづくりの核・住んでよかったと思える図書館・市民の誇りとなる図書館

図書館は、まちづくりの核になること、住んでよかったと思える施設になること、市民が誇りに思う施設になることについてご意見をいただきました。佐久市は、「第二次佐久市総合計画後期基本計画」において、「佐久市内外の多くの人々が佐久市で暮らしたい、働きたい、佐久市に行きたいと思うまちになること」を目指しています。図書館もまちの魅力のひとつとなるよう、取り組んでまいります。

【意見 2-1- (3)】 生涯学習施設・社会教育施設

施設の性格

図書館は生涯教育と社会教育の両方の場を提供するための中心となる施設である。

但し機能の一部は公民館と分担できるため、立地などを考慮して調整すべきである。

また通信の発達により、自宅や他の施設などと連携した運用体系も可能とすべきである。

なお、公民館の現在の登録グループではどこも社会活動に取り組んでいない。

(補足)

生涯教育：個人の関心を中心に長期間で関わる。

社会教育：現実の問題に対処し、多くの人に関わることを基本とする。

図書館施設の目的

活動する場所と必要とする情報の両方を提供する施設であり、主な機能として下記がある。

- ・ 図書（音声媒体を含む）の所蔵と貸し出し
- ・ 新聞・雑誌（短期間情報）の提供、所蔵

- 映像の提供、オンライン・データベースの利用（長期的情報）
- 上映、講演、ワークショップの開催（主催者の催しへの参加）
- 社会教育に適した学習（調べる／考える／議論する グループ活動を含む）の場、及び、情報（図書、データベース、ウェブサイト）の提供（ネット利用との併用を含む）
- 情報入手の支援（リファレンスや調査支援）～他の図書館や自宅からの要請を含む
- 点字、音読、拡大文字、などの資料要望への速やかな対応（IT 利用など）

【回答 2-1-（3）】生涯学習施設・社会教育施設

生涯学習施設、社会教育としての図書館について、ご意見をいただきました。現代の図書館は、多くの役割が期待されていますが、基本は教育機関です。

また、図書館の基本的な機能は、資料提供、情報サービスです。生涯学習機関としての図書館を進めていくうえで、いただいたご意見を参考にまいります。

【意見 2-1-（4）】図書館という範疇を超えた「情報センター」的な施設に

「図書館」という範疇を超えた「情報センター」的な施設に。

- 市内の公立、私立の所有している資料、作品等の情報を集約し、検索閲覧できる体制に。（県が構築している信州デジタルコモンズとの連携）
- 市内の学校図書館、支所、地域会館（野沢会館、浅間会館等）の情報ハブとしての機能を強化し、市全体の文化的情報コーディネーターの役割を果たすような施設に。

【回答 2-1-（4）】図書館という範疇を超えた「情報センター」的な施設に

他の機関をつなぐ情報センターとしての図書館のあり方について、ご意見をいただきました。ご意見は、図書館の在り方を考えるうえで、参考にさせていただきます。

【意見 2-1-（5）】交流・コミュニティの形成

多世代の交流にはハード面での工夫には限界があるかと思うので、ソフト面での運営について方向性を提示頂きたい。例えばデンマークでは本を貸す代わりに人の時間を貸す仕組みがある。そうすることにより普段は接することのないマイノリティの方や移住者からみるとなかなか話することができない地元の高齢者の方等との接点づくりをすることができる。

【回答 2-1-（5）】交流・コミュニティの形成

多世代が交流する手段として、デンマークの取組をご紹介いただきました。多世代交流の意義や、「人間図書館」「ヒューマンライブラリー」の実施について、今後検討させていただきます。

【意見 2-1- (6)】 子ども

子どもが親しむ場所づくり

全国一の晴天率を誇る佐久地方ですから、晴れの日には外遊びが良いかもしれないが、雨の日には図書館で遊んでもらって、本のある環境に馴染んでいただく工夫が有効と思われる。フランスでは児童館のように自由に親子で立ち寄れて、図書館のように知育玩具やボードゲームを借りられる「リュドテック (Ludotheque)」という施設がある。

<https://www.shinga-farm.com/parenting/ludotheque/>

親子でにぎやかに遊べるスペースの創設と合わせこのような施設があることは、魅力ある街づくりの要素となりうるものと思われる。

【回答 2-1- (6)】 子ども

子どもが親しむ場所づくりとして、リュドテックをご紹介いただきました。子どもが親しむ場所づくりの方策やリュドテックの可能性について、今後の参考にさせていただきます。

【意見 2-1- (7)】 市民との協働

公立図書館なので、市が基本方針のもと主体に運営するのはもちろんであるが、市がサービスの提供者、市民がその受け手という関係からさらに進めて、共に創るという立場を明確にしていきたい。

地域の情報を収集、整理、編集し発信する「市民学芸員」、「市民司書」の育成をすすめ、地域の情報を、リアル図書館だけでなく、ネット空間にいっしょに構築していく。という活動を進めていきたい。

【回答 2-1- (7)】 市民との協働

市民との協働、市民とともにつくる図書館について、ご意見、ご提案をいただきました。市民との協働は、基本方針の方針 4、方針 5、方針 6 にかかわりがあります。今後の参考にさせていただきます。

【意見 2-1- (8)】 市民活動の拠点

社会教育と密接な関係がある市民活動の拠点としての図書館の利点は

- 関係する書籍を集めて比較しながら考えることができる。(反対の立場の本や駄本も必要)
- オンライン・データベースが利用できる。

ネットを利用すれば遠くの人や障害のある人が参加でき、最近ではリアルタイムで字幕を作成できるので外国にルーツがある人なども容易に参加でき、多様な意見を交わすことができる。

- 高校生を交えたワークショップなどの支援
- 情報リテラシーの教育 (議論を含む)
- ウェビナーやオンライン会議のツール (zoom など) 運営の支援

動画などのコンテンツ制作については今後の検討課題とすべきである。

- ハードウェアやソフトウェアの急激な進歩
- 県立図書館のラボとの連携 (例: ソフトの利用、3D プリンタ、画素数の多いディスプレイ)

【回答 2-1- (8)】市民活動の拠点

図書館を拠点にした市民活動についてご意見をいただきました。市民活動は、基本方針の方針 5、方針 6 にかかわりがあります。また、方針 2、方針 3 にもかかわっています。ご意見は、図書館の在り方を考える際の参考にさせていただきます。

【意見 2-1- (9)】連携事業

美術館や考古資料館とコラボ企画して、三館立ち寄ってもらえるものがあったもよい。

他の文化施設と連携して、

- 市民の創作活動を活発にし、その成果を、図書館（+他の文化施設）で収集し、発信し、新たな市民の創作活動を誘発する、という従来の図書館の活動を越えた施設とする。

佐久市は佐久地域の中心市でもある。収集する情報については、佐久市はもとより、佐久地域の情報をも収集整理提供していただきたいと思う。

そのため、佐久地域の図書館、博物館、美術館、資料館（公立、私立問わず）との連携する仕組みを構築していただきたい。

【回答 2-1- (9)】連携事業

佐久市内外の文化施設との連携について、ご意見をいただきました。他機関との連携は、基本方針の方針 5、方針 6 にかかわります。佐久市内外の文化施設との連携、また図書館の在り方について、今後の参考にさせていただきます。

【意見 2-1- (10)】公文書館

公文書館

- 中央図書館とは別に考えるべきである。
- デジタル化を基本とする。
- デジタル化しない資料については中央図書館の外部書庫との共用を検討する。

【回答 2-1- (10)】公文書館

公文書館に関してご意見をいただきました。図書館にかかわる公文書館の在り方を考えるうえで、今後の参考にさせていただきます。

2-2 建物

【意見 2-2- (1)】施設（全体）

- 現在の中央図書館は全体的に館内に暗さを感じる。自然光が入ってくるような作りだと長時間中いても快適に過ごせる。
- 換気もいまひとつで、いかにも図書館といった匂いが漂っている。それはそれで好きな人もいるかもしれないが、個人的には風通しが良い、檜などの木材の匂いが感じられる作りの方が好みである。

・ プール、マレット、テニス等の利用者、創造館利用者が、気軽に立ち寄れるような図書館を作ってほしい。 ・ 公園利用者にもアンケート、意見を聞いてみてはどうか。
公園の緑、環境を活かした図書館(眺め、明るさ、雰囲気)を作ってほしい。
断熱性の向上 長い視点で見れば建築時に断熱性を最高にしておくほうが経済的である。
幼稚園が近くにあって、元気いっぱいなのはとてもいいことだと思うが、本を読みたいときや勉強したときは、少し気になっていた。防音をしたり、個室の学習室を作ったりしていただけると嬉しい！
月に1、2回利用している。 生まれた時からあり、建て替えてしまうのは寂しいので、建て替えないで欲しいが、難しいと思う。 外観も内観も同じような感じにしてもらえると嬉しい。

【回答 2-2- (1)】施設 (全体)

現在の図書館の課題や、新しい図書館への希望については、今後の基本計画策定の際に反映させていただきます。

2-3 館内スペース

【意見 2-3- (1)】基本的なスペース

閲覧室	書棚は低く、広く見通せると気持ちが良い。
児童スペース	現在の中央図書館を月 1-2 回ペースで利用している。(1 歳になる息子がいる) 新しい図書館に求める子どもスペース ・ 靴を脱ぐ ・ 子を床に下ろして自由に動ける空間 ・ 壁沿いに沿って本棚を配置するだけでなく、各所に座って本を読める場所があり、広々として必要以上に他人に気をを使う必要がない ・ 大人の勉強スペースからは離れた場所に子どもスペースを配置する 本棚の材質は木にするなどあたたかみを感じられる雰囲気があると良い。
学習スペース	学習スペースの拡大 学習スペースはフリーWi-Fi 利用可能としインターネット学習を誰もが気軽に利用できる環境とする 友だちと、ひとりで勉強できるスペース
読書スペース	読書スペースは日当たりの良い場所に全面ガラス張り（当然紫外線カットガラス）で寝転んでの読書も可とする自由なスペースと個人的に読みふけるまたは調査するスペースを別に分けること 読書に集中できるスペース

【回答 2-3- (1)】 基本的なスペース

図書館に必要な、基本的なスペースについてご意見をいただきました。ご意見は、今後の基本計画に反映させてまいります。

【意見 2-3- (2)】 各スペースの在り方

個人的にはスターバックスと一体化しているような図書館が最適
私が考える今の時代に適合した図書館は、本を読む借りる以外の目的でも気軽に立ち寄れる居場所のようなもの スマホ ok のスペース、キッズスペース、私語禁止のスペース、展示や催しを行うスペースなど別々の目的を持った人がストレスなく過ごせると良い。
図書館はもちろん、自習室の充実、会議スペース、共有スペースなど多世代が集える場所にして欲しい。
ベテランの司書の方が多くのように思った。活性化という意味で、司書の方が面白い企画を立ち上げやすかったり、外部の者が図書館を通じて何かを行いやすかったりする環境やスペースがあるといいと思う。
・雑談しながら居場所として過ごせるスペース ・飲食可能なスペース ・コミュニティに出会える場所
ウエルシアが設けているような、住人がちょっとしたワークショップで使えるようなエリアもあった方が良い。
視聴覚利用スペースは、完全防音構造とし音楽等の利用にも備えることなどにより現在の佐久市立中央図書館建替再整備基本構想（素案）における課題の克服は可能であるとする。

【回答 2-3- (2)】 各スペースの在り方

図書館に設けるとよい多様なスペースについてご意見をいただきました。ご意見は、今後の基本計画策定の際に参考にさせていただきます。

2-4 設備

【意見 2-4- (1)】 机と椅子、自動貸出機・予約棚、トイレ、Wi-Fi

机と椅子	現在の中央図書館は、机と椅子の種類が少なく、ほぼ同じであるため、自分に合わない長時間使用する気になれない。複数の種類が欲しい。また、昔からの個別の仕切りタイプの机だけではなく、対面で座るタイプの大机や、可動式の机椅子、ソファータイプの椅子が欲しい。
------	--

自動貸出機・予約棚	自動貸し出し機や予約本の受け取り方法について 現在小諸市で採用している自動貸し出し機や予約本の受け取り方法がプライバシーを守る意味でもとても良いと思っている。誰もが安心して情報にアクセスすることができる、自分が読みたい本をだれかにジャッジされるのでは？という心配なく借りることができるためには、対面での貸し借りではなく自分で貸し出し処理をできる、また、予約本もコーナーに行けば誰かにみられることなく借りることができるというシステムが良い。 自動貸し出し機が導入されれば、職員の方がリファレンスやそれ以外の対応に時間を使えるようになると思うので、図書館のサービスとしても向上すると思う。(もちろん対面で借りたい方は今まで通り対面でも OK)
トイレ	ジェンダーフリートイレの設置 基本方針 1 や 4 の「ユニバーサルデザイン」や「違いを超えて」いう部分に該当すると思うが、「だれもが心地よくすごせる」ための配慮として男女のトイレだけではなく、ジェンダーフリーのトイレの設置をお願いしたい。
Wi-Fi	・従来型の個別の勉強机のエリアだけではなく、リモートワークでも使えるようなエリアや、会話しても良い、飲食もできるようなエリアが欲しい。充電ができたりパソコンができたりするようなエリアは必須だと思う。 ・ネット学習は必須であるため、高速 wi-fi の設置(佐久市 wi-fi は遅すぎて使い物にならない) ・フリーwi-fi

【回答 2-4- (1)】机と椅子、自動貸出機・予約棚、トイレ、Wi-Fi

新しい図書館に備えたい設備についてご意見をいただきました。今後の基本計画策定の際に、反映させてまいります。

【意見 2-4- (2)】メタバース（インターネット上に構築された仮想空間）を活用した蔵書のシステム

誰もが利用しやすい居心地の良い図書館とするためには、蔵書スペースの徹底効率化により読書、学習、データベースの利用などの各種サービスおよび気軽に市民が立ち寄り自由に時間を過ごす場を提供するスペースを確保することが必要

- 1 蔵書は完全自動化された倉庫に保管し、蔵書の検索は AI 等を駆使した言語検索とメタバース化した蔵書館に入館しての検索を可能とする
- 2 1 の言語検索及びメタバース利用検索は、市民コードを有する市民が佐久市全域で利用可とする
- 3 検索により貸出希望図書があった場合には貸出予約を可能とし持ち帰りまたは郵送を可能とする

【回答 2-4- (2)】メタバース（インターネット上に構築された仮想空間）を活用した蔵書のシステム

今後、可能性と課題について検討してまいります。

2-5 併設するとよい施設・コーナー

【意見 2-5- (1)】併設するとよい施設・コーナー

喫茶店のようなものが併設されるととても有難い。ゆったりと集える場として、図書館をより楽しく身近なものにして欲しい。

館内にカフェがあると嬉しい。

美術館か図書館どちらかにカフェがほしい。

同じ駒場公園内に併設されている、佐久創造館や佐久市立近代美術館とも協同すべく、音楽・絵画・書道・彫刻・陶芸など芸術・文化の拠点として、市内で行われている文化活動を支援する機能を維持できるようにしてもらいたい。

具体的には、音楽室や練習室など、複数の防音室、また絵画・陶芸・書道などを行える機能を有した設備の確保、作品を展示したり、演奏やダンスなどを披露できたりするスペースが確保されるのが望ましい。全国各地に造られた魅力ある図書館の素晴らしい部分を継承しつつ、佐久市民の文化活動もしっかりと支えられる、複合文化施設が創造されることを切に希望する。

複合化施設とする場合、音楽活動ができる施設にしていだきたい。その際には、どのようなものが必要なのかを実際に利用する団体や立場からの要望を聞いて検討してほしい。佐久創錬センター・浅間会館・野沢会館等、新しくなった施設の音楽室は小さすぎて人数の多い団体は入れず、大会議室等は防音されていないので、創造館の音楽室のように使うことはできず、せっかく新しくなったのにとっても残念だった。

【回答 2-5- (1)】併設するとよい施設・コーナー

併設するとよい施設についてご意見をいただきました。今後の参考にさせていただきます。

2-6 図書館資料

【意見 2-6- (1)】図書館資料

図書館の役割は変わってきてはいるが蔵書を中心とするという点では変わらないので、蔵書の充実是最優先で考えなければならない。

県立図書館が最優先で行うべきことは市町村図書館の支援であるが、長野県立図書館は十分に機能していない。蔵書の充実市町村図書館への貸し出しについてもリファレンスについても基本であるが、全く不十分である。ラボについても、県立図書館に出向いて利用することができない人について配慮されていない。佐久地域の他の図書館と連携することによって、県立図書館の不備を補うべきである。分館についても充実を図るべき。

蔵書に関しては、文学を・人文を強化していただきたい。

しっかり予算をつけて、新聞書評や国内外各種文学賞（候補まで）に登場した本は購入してほしい。雑誌『文藝界』の購入取りやめは本当に残念だった。

図書館としては、活字資料（図書・文献）に限らず、映像・音楽コンテンツを蓄積・保存し、市民が閲覧・鑑賞できる施設を目指して欲しい。

図書収蔵の方針

利用者要望に沿った分野の書籍	従来通り
地域独自の出版物など	従来通り
絵本など読み聞かせや小さい子供が本に親しむための書籍	従来通り
中高生が社会の様々な分野について知るための一般書（新書など）	強化
外国にルーツがある人たちのために外国語資料（書籍、雑誌、新聞）	強化／新規
社会教育に必要な比較的新しい出版物	強化

視聴覚資料については著作権関係（ダビング防止など）と媒体保護のため、館内に視聴設備を設置するに留めるべきと考える。

下記を課題として検討すべきである。

- ・ 印刷した新聞は配達区域のものに限定されるので、それ以外の地域（全国紙の夕刊記事を含む）の記事を参照できない。
- ・ 雑誌は購読誌を選ばねばならない。保存期間が限られる。

中央図書館の書架と書庫の方針

- ・ 開架を増やす
- ・ 企画展示を可能とする（書籍の説明や書評紹介を含む）
- ・ 閉架書庫は本館に設ける
- ・ 貴重書書庫は本館内か近くに設ける
- ・ 外部の書庫を1か所以上設置することを可能とし、図書・雑誌などの廃棄を減らす
- ・ 古い資料の保管については、県立図書館、県立歴史館への移管を可能とする

中央図書館は建物や蔵書がかなり傷んでいるのを感じていた。

積極的に利用をしてはいないが、佐久地域の歴史、風俗や文化、伝承や土地の成り立ちなどの地域に関連した本が充実していて、じっくりと読みたいものがあつた。

そうした図書類は他では見つけられないので今のまま残して欲しい。

図書館流通センター（TRC）のような大手に、本の選定から入荷まですべてを丸投げするような図書館には決してしないことが、地元密着・地元ファーストの図書館のあり方として守るべきことだと思う。

【回答 2-6-（1）】図書館資料

図書館資料、蔵書、選書についてご意見をいただきました。ご意見は、今後の資料収集の参考にさせていただきます。

2-7 図書館サービス

【意見 2-7- (1)】 図書館サービス

重点を置く活動	
子どもの読書活動	継続・強化
高校生の読書力の向上	新規
高校生が社会を広く知るための、読書と講演の組み合わせ	新規

【回答 2-7- (1)】 図書館サービス

重点を置く図書館サービスについてご意見をいただきました。高校生世代もふくめた「第 4 次佐久市子ども読書活動推進計画」は、本年、令和 7 (2025) 年 3 月に策定予定です。ご意見にありますように、高校生世代の読書の推進は大事なことです。今後の運営で取り組むとともに、新しい図書館では施設面でも取り組めることを検討してまいります。

2-8 職員

【意見 2-8- (1)】 職員

【図書館職員の雇用形態について】 佐久市立中央図書館建替再整備 基本構想（素案）の 23-24 頁に書かれている基本方針に近づくためには、図書館職員の専門職としての質の向上が大変重要である。そのためには、図書館職員の正規職員の割合を増やすことが必要。 長野県内の図書館員の非常勤比率は約 8 割であり、それが全国と比較してもかなり高い数値であると知った(斎藤幸平『ゼロからの『資本論』』 48-50 頁参照)。 2024 年 1 月 31 日頃に公開されていた「佐久市立中央図書館建替再整備 基本構想（案）」には、(6) 運営面における課題「イ 職員」(39 頁)には「各種図書館サービスを計画し実行するには、図書館の知識があり、自ら研修を行うことができる司書職員を一定数確保する必要があります」(7) 財政面における課題 (39-40 頁)には「佐久市は、図書館費そのものも両市〔塩尻市と飯田市〕よりも少なくなっています。佐久市は、市の歳出予算、教育費、社会教育費に対して、図書館に対する費用が大変小さいといえます。図書館活動を活発にするには、今よりも大幅な財政措置が求められます」と書かれている。
司書、館長への給与手当て増額
図書館職員の権限で管理運営できる図書館に生まれ変わると、ハッピーなのではないか。
レファレンス機能の充実 図書館は議会のレファレンス機能を提供する役割を担っている。 塩尻図書館では、32 人の司書さんがいらっしゃって、分野ごとに担当が割り振られていて、毎月最新の図書が出版される度に吟味をして一人一冊という原則で図書を購入していて、学校図書館の司書さんと連携しているので、学校発表会では他地域の先生方から「塩尻の発表は一味違う」とビックリされることが。そういうインフラがあるので、市の職員や議員さん宛に司書さん側からいろいろな提案を持ち込んだりして、議会や行政からの refer を待たずに reference 機能を自ら発揮しているようである。年間 30 百万円の図書購入予算は常に削減の圧力にさらされながらもなんとか踏ん張っている、と 2023 年 1 月に副館長さんが丁寧に説明をしてくれた。佐久市の図書購入予算は 21 百万円程度のようなが、建替プロジェクトを契機として、図書館を地域活性化の起爆剤として再度見直す必要があるのではないか。

現在の蔵書は文学が多く貸出し要望でも同様であるが、これでは「無料貸本屋」の誹りを免れない。 長野県が「学びの県」として存続するには、OECD などの方針に示されている「調べる／考える／議論する」ことを重視し、そのために必要な社会の様々な分野の情報の入手と議論できる場が必要である。 情報の中心は書籍であるが、雑誌、ネット情報、メディア、ビデオ、などの活用も不可欠である。 また、利用者の情報リテラシーを向上させることも必要である。 そのためには、比較し、議論することによって、考える能力を向上させる必要がある。 職員（司書）にはそれらを支援することが求められる。 著作権や肖像権についての基礎も知らねばならない。 今後は AI がより手軽に使えるようになるので、必要とされる事項が増えるのは明らかである。
今後の検討では下記を中心とすべきである。 • 従来の図書館活動の中で重点を置く項目 • 市民活動の拠点として新しく備えるべき項目 これらを支援するために司書の増員と研修・研究も必要である。

【回答 2-8-（1）】職員

司書の果たす役割の大きさ、正規職員の司書職の割合を増やすこと、研修の必要性についてご意見をいただきました。司書資格のある職員の配置や職員のスキルアップを図るなど、体制を整えていくことが重要であり、引き続き、検討してまいります。

2-9 財政措置

【意見 2-9-（1）】財政措置

現在公開されている佐久市立中央図書館建替再整備 基本構想（素案）には、「図書館職員の資質向上」や「図書館活動を活発にするための財政措置」の記述が見当たらない。

もし、本当に 6 つの基本方針を目指すのであれば、他の自治体や先行事例に学びながら、図書館職員の雇用形態や財政措置を具体的に考えて、改善していくことが必要であると考えます。

参考：2024 年 1 月 31 日頃に公開されていた〔と思われる〕「佐久市立中央図書館建替再整備 基本構想（案）」：

<https://www.city.saku.nagano.jp/tosyo/chuousaiseibi.files/06.01.31siryo2-chuotoshokan.pdf>

【回答 2-9-（1）】財政措置

基本方針の実現に向けて検討を進めてまいりたいと考えております。

2-10 全域サービス・佐久地域の資料共有

【意見 2-10- (1)】 全域サービス・佐久地域の資料共有

基本的に中学校区に1館（一部は図書の受け渡し拠点で代行）とする。

移動図書館の巡回については、定常サービスと子供への読書教育に分けて再検討すべきである。

北佐久地域または全佐久地域の図書館との連携

- ・ 同じ購入費用で多数の書籍を購入できる
- ・ 受け渡し拠点の候補
 - ・ 佐久市中央図書館
 - ・ 長野県佐久合同庁舎

【回答 2-10- (1)】 全域サービス・佐久地域の資料共有

市域にくまなく図書館の資料にアクセスできるしくみの必要性和、多くの資料を利用するための広域の資料共有についてご提案いただきました。両方とも大事な観点ですので、今後検討してまいります。

2-11 現在の図書館の課題

【意見 2-11- (1)】 課題・課題（とりくめること）

課題	・ 現在の中央図書館は全体的に館内に暗さを感じる。 ・ 換気もいまひとつで、いかにも図書館といった匂いが漂っている。
	休日に中央図書館の学習室を利用している。平日は野沢会館やイオンのフードコートを利用している。（図書館は閉館時間が早い為）野沢会館では中高生がたくさん勉強している。イオンもしかり。平日夕方の図書館にはない光景。 なぜだろうと思ったときに感じたこと 1.閉館時間が早い（野沢会館では中学生は7時位、高校生はもっと遅くまでいる。） 一般の方も結構遅くまで利用している。 2.グループ学習ができない（野沢会館では皆で教えあったりしている。）図書館では静かに勉強しなければいけないという固定観念が強いイメージ。 3.ネット環境が無い。本来なら図書館なので本で調べた方が良いでしょうが、多くの情報が必要な時に不便。 4.PCやタブレットが使える場所が少ない（4席）学習室は使用不可となっている。 5.長期滞在の時に気分転換する場所がない。飲食可能の場所も通路に机を置いてただなので、寂しいし、他者の目も気になる。 6.図書館利用者の駐車場の確保（武道館で大会等あるときは駐車できないことが多々ある。） 7.学習室の椅子と机のバランスを考慮してほしい。（中央図書館の学習室の椅子は低い。） 単に本を借りるだけが、図書館の役割ではない。残念ながら、今の図書館は本がただただ、ぎゅうぎゅう詰めで、なんのときめきも感じるができない。まずは、空間の余裕が必要では。

課題（とりくめること）	現在、幼児向け本棚が並んでいる奥の部屋へ入って左に未満児向けの本棚がある。このスペースが現在かなり使いづらいものとなっている。 まず、本棚前の通路が20-30cmの隙間があるのみで大人1人通れない。 靴を脱いで上がるマットが敷いてあるので、そこに腰掛けながら左右に移動して本を選んでいる。本棚が1列でどん詰まりになっているのも良くない。他の利用者さんが来た際には出られなくなってしまうので選書中かなり気を遣う。 このスペースは低月齢の子どもと一緒に来る方がほとんどかと思うので、もっと本棚を部屋の中央に並べて、靴をぬぎ自由に動き回れるようカーペット敷きや防水性のあるマット敷き等にした方がよい。せっかく広い部屋なのに半分がデッドスペース化している。 右半分は大人向けの資料が保管されているが、これはすみ分けするべきかと思う。
	子ども向けの読み聞かせイベントに毎月参加しているが、もっと頻度を多くして欲しいという方はたくさんいると思う。 小諸の図書館を訪れたが、子どもスペースに関してなかなか良いと思った。 佐久市が今後、より魅力的な市になって欲しいので、図書館再建に期待している。

【回答 2-11- (1)】 課題・課題（とりくめること）

現在の図書館の課題について、今から取り組めることについては、対処してまいります。

2-12 基本構想・基本方針

【意見 2-12- (1)】 基本計画の進め方・今後の図書館づくり

市民の意見やニーズを集約する地元主体の公募チームが必要。 図書館はその地域の底力を図るものさし。民度を測るものさし。どんな歴史を刻んできた地域なのかが露（あらわ）になる場所だと認識している。そしてどんな人材を育てて、どんな豊かな人生を送ることがこの地域でできるのか。全国に自慢のできる図書館が実現できれば、佐久市へ移住したくなる人々も増えるのでは。今回のプロジェクトは、そんな可能性をも秘めていると思う。 全国に胸を張れるような街にするためにも、より多くの意見を集約できる公募チームがあれば、バランスのとれた施設を誕生させることが可能になるのでは。より関心を強く持っている市民の声を反映させることこそ、バランスのとれた施設となると強く思う。 地元出版社や出版社で培ったさまざまな分野の編集経験を生かせる当地在住の編集者や、地元密着の書店関係者など本に造詣の深い人材、地元の図書館司書の志を集約できるメンバーを中核に据えることが肝要。 施設の具体的な計画に反映できるように、ぜひ、地元の本好き人間（心ある人たち）の声を吸い上げるための公募の実施を望む。
--

【回答 2-12- (1)】 基本計画の進め方・今後の図書館づくり

基本計画の進め方については、今後、検討してまいります。

【意見 2-12- (2)】基本方針について

6つの基本方針、すばらしいコンセプト

基本方針の具体的な内容はこれから検討すると思うが、ぜひその際に考慮していただきたい点がある。図書館を利用する誰もが受け入れられ心地よく過ごせるような空間であるために、ご検討いただきたいと思う。

【回答 2-12- (2)】基本方針について

6つの基本方針の具体的な内容については、今後の基本計画策定に活かしてまいります。

分類3 建設場所について

3-1 建設場所について

【意見 3-1】建設場所について

・大型書店が佐久平にしかないので、現在の駒場公園内がよい。

駒場公園内を有力候補地とする案に賛成。

・文教エリアとして市民が長年かけて育ててきた場所であり、市民の学びの場、憩いの場となるような施設を。

・佐久平駅周辺は、周辺の混雑、駐車場の確保、佐久平への一極集中がさらに加速することを考えると慎重に考えるべき。

・平日の夜と週末だけしか利用できない層をターゲットにして立地を判断することには違和感がある。

・駒場公園に中央図書館を建設したうえで、サテライト的な位置づけのミニ図書館を佐久平に建設することは検討の余地あり。

図書館は駒場公園内が良い

・各地域がそれぞれの目的のある機能を持っていた方がよい。必要に応じて各地域を行き来するたびに他の場所も利用することで全体として活性化する。

・佐久平駅前にすべて集中すれば他の地域に人が動く機会がなくなる。人が動かないと町はさびれる。

・駒場公園は文化の発信地、交流の場という機能を持って開発してほしい。

・佐久市に移住してから、駒場の図書館ほどよく通った図書館もないと思う。駒場公園の中にあるというのが最大のメリット。

・子供が小さい頃はプールや散歩がてら出掛けて図書館に寄り、犬の散歩に出掛けては図書館に寄り、現在は病にある夫との散歩に付き合いながら図書館にも出掛けるようになった。

・こんなに環境のいい図書館は滅多にあるものではないと思う。新しく整備すべきはして、ぜひ公園の中の図書館という立地は残していただきたい。

小海線の中込駅（または北中込駅）に近い場所に設置を

- ・ 自動車を使えなくても、気軽に行ける場所にこそ図書館はあるべき。
- ・ 情報を知るため、知識を得るため、学ぶための場所に行くのにハードルを設けるべきではない
- ・ 子どもから高齢者まで、佐久市民すべてのひとにとって図書館こそ平等であるべき施設
- ・ 佐久平駅に集中させることなく、今ある図書館の近くの駅周辺が望ましい。
- ・ 中央図書館以外も小海線の駅から遠く、アクセスが非常に不便。行きたくても行くことができない市民が多い。
- ・ 新図書館こそ、その不平等性を突破する最大のチャンス
- ・ 人は、誰しも年を取り、運転免許証も返納せざるを得ないのが実情。交通弱者に対応するため、駅の近くに設置するのは、最低限の配慮

- ・ 佐久市の図書館は車を出さないと利用できない。
- ・ 図書館を子どもだけで行ける場所に建てて欲しい。（もしくは、子どもだけでいける手段の確保）
- ・ 人の流れの多い場所（佐久平駅周辺もしくは中込駅周辺）に置くことが良い。
- ・ 佐久平駅周辺が難しいのであれば、小規模でも人気の本が見られるような図書館が佐久平駅周辺にあるといい。「駅前返却ポスト」等図書館に行かずに何かのついでに返却できるポストがあると便利
- ・ 佐久平駅周辺であれば、新幹線の待ち時間にも利用でき、お勤め人も学生も二拠点生活の方等も便利になり、若い世代の移住・定住の促進につながる。
- ・ 他にない佐久らしい素敵な図書館が地元があれば、地元が誇れるものの一つになり、利便性及び今後の佐久市の人口の変動等加味して、より多くの人が利用しやすい図書館、地域の発展の中心になるような新しい時代の図書館になって欲しい。

- ・ 子供たちが自分で行ける駅の近くに建てて欲しい。今の場所は車でしか行けないので不便。

佐久平駅から徒歩で行ける場所の方が良いのではと思う。

- ・ 佐久平駅近くにマンションが建設されており、移住者も増えている。その方達も利用しやすい場所にあれば、利用者数の増加が望める。
- ・ 子供達の利用も増える。
- ・ 駅近には商業施設も多いので、買い物ついでに気軽に立ち寄れる場所に図書館があれば、活性化に繋がる。

- ・ まちの図書館はどうあるべきか？最も図書館を利用する利用者は誰なのか？ということを、一旦原点に立ち戻り、考えて頂きたい。
- ・ 図書館を頻繁に利用したい利用者の多くは、勉学に励む学生なのではないかと考える。
- ・ 現在の駒場公園の立地では車で行かなければならない不便な場所にあるため、学生はおろか一般市民も行くのに一苦労している。
- ・ 周辺地域の学生の視点に立った図書館構想を練ることが必要不可欠である。
- ・ 佐久平駅周辺、岩村田駅周辺、中込駅周辺などが最適

中軽井沢図書館は駅直結の図書館に建て直してからは利便性が上がった。

参考：中軽井沢図書館建設に関わった業者

（宮本忠長建築設計事務所）

<http://www.t-miyamoto.co.jp/works/detail.-600/>

・公共交通でのアクセスは必須であり、まちづくり計画を含めて検討すべきである。
・現在の駒場公園内は、小海線の駅からも遠く、運転免許証のない子供や高齢者は利便性良く利用できない。場所としては佐久平駅近くで誰でも立ち寄り易いところに立てるべきと思う。
・図書館の建替えは賛成。交通の便の良い佐久平駅近くに建設できると学生も使いやすい。
・候補地について、野沢の新子育て施設と合わせたデザイン、中込の映画館設立に合わせたデザイン、イオンや佐久平交流センター、佐久平駅の再整備と合わせたデザインなど、様々な選択肢がある。候補地と選択基準を開示し、市民の声を拾ってほしい。
・駒場公園はこどもの遊び場としては遊具が少なく、創造館跡地を活用する場合、駒場公園自体の機能の見直しも必要。駒場公園の機能がそのままの場合、家族連れでの図書館の利用が限定的になることを懸念している。

【回答 3-1】建設場所について

市は「公共施設等適正管理推進事業債」の活用を前提に、駒場公園内にある佐久創造館の閉館後の跡地を新図書館の有力な建設候補地として検討を始めたところです。新図書館は「居心地の良い空間」、「考えを深める空間」の提供を目指しており、周辺環境が大変重要であることを踏まえ、自然豊かな駒場公園内に建設されることが望ましいと考えております。

分類4 佐久創造館関係

4-1 佐久創造館関係

【意見 4-1】佐久創造館関係

・創造館の閉館時期について存続を願う会との調整・理解は得られているか ・新図書館の複合化で付加する創造館貸館機能で現在の体制が維持できるのか（防音設備が整備された部屋など） ・創造館閉館後の複合化については利用団体との十分な協議・意見交換を望む
・佐久市として存続を願う声を直接聞いていただき、納得できる方向を目指していただきたい。
図書館を創造館と一体化する素案に関しては反対 ・図書館と音を出す施設は同居できない。創造館は耐用年数があるので、継続して使い、図書館は利便性の良い街中にするべき ・創造館建替えの期間、活動場所の確保ができない。創造館の活動は良い市民参加の形なので熱意を理解していただきたい。
・創造館を壊すといくつかの団体が活動場所を失う。 ・市は文化の創造育成にお金をかけて素晴らしい、住んで良かったと思われる市に発展していくのがよい。

・法的に 60 年寿命とされている創造館は、市が県から譲り受けてあと 16 年活用できるようにしてほしい。 ・現在利用中の団体が引き続き活動できるような新施設になるように十分な時間をかけて丁寧にヒアリングをしてほしい。
・創造館は文化的活動、市民文化の発展・交流に欠かせない重要な拠点。図書館は知識・教養を高める場として重要な役割を担う。 ・図書館再整備計画を推進するうえで、どのように他施設として活用できるかという点で複合化についても議論、資料の収集を行うべきであり、他の団体の利用・活動状況についても検討していく必要がある。 ・検討委員の方々に、創造館利用団体の活動の現状も合わせて理解・検討していただきたい。
複合化による建て替えに反対 ・市内の他の施設（野沢会館、創錬、浅間会館等）は予約が取りづらい。申し込みが多く取り合いになる。 ・活動に対応した器材や備品、排水、専門道具、倉庫、発表の場、常設ギャラリースペースがなくなる。 ・管理、サービス機能がない又は劣悪 ・新しい創造館スペースが半分になる。 ・40 年続けた趣味活動により、生業の憂いを癒し、心身の健康を維持してきた生活が奪われる。 ・44 年間で、ピークで年間延べ 15 万人が利用し継続して増え続けた 83 団体のうち 44 にも上る団体が建築期間を含めて活動が継続できなくなり解散を余儀なくされる。44 年を費やして道具化してきたことが全て無に帰してしまう。 ・佐久市の文化振興の後退を意味する。

【回答 4-1】佐久創造館関係

佐久創造館は、県の方針で、耐用年数を考慮し令和 9 年度末で閉館する、とされています。

市は、類似する施設として市民創錬センターが近接していることや、県立武道館が整備されたこと、また、公共施設マネジメントを推進する中で、公共施設の総量削減を行っていかねばならないことから、佐久創造館の受け入れは困難であると考えております。

そこで、これまで創造館で培われた文化的活動の一部を取り入れ、図書館機能との融合を図ることにより、新たな役割や価値が創出されるのではないかと考え、複合化施設の建設を検討しております。

今後に向けた取組として、県が懇談会を開催し、市同席のうえ、利用団体の皆様の利用状況や活動場所に求める条件等をお聞きしております。ご意見等を踏まえて市は新図書館に複合する創造館貸館機能部分について検討してまいります。なお、基本計画策定の際に、建替再整備検討委員会委員からもご意見を伺う予定です。

駒場公園は、文化活動の育成に資する「創造の森」として位置づけられています。複合化施設を駒場公園内に建設することにより、引き続き佐久広域圏内における芸術・文化の継承に寄与するものと考えております。佐久創造館利用団体の皆様のご意見を踏まえたうえで、複合化について検討してまいります。

分類 5 その他

5-1 地元への周知徹底と現状の情報開示

【意見 5-1】 地元への周知徹底と現状の情報開示

ほとんどの佐久市民が図書館の建て替え構想を知りません！

地元への周知徹底と現状の情報開示を

- ・図書館の建て替え構想があることを知らない市民がほとんどであることを念頭に、今一度、広報の徹底とマスコミへの情報開示をお願いしたい。

【回答 5-1】 地元への周知徹底と現状の情報開示

図書館建替再整備基本構想策定にあたり、検討委員会の報告や、各種取り組みについて、ホームページ、広報佐久等に掲載しております。

多くの市民の皆様に関心を持っていただけるよう、周知について工夫していきたいと考えております。

5-2 「箱もの」の建設請負業者への丸投げについて

【意見 5-2】 「箱もの」の建設請負業者への丸投げについて

- ・いわゆる「箱もの」を建設請負業者に丸投げすることは、公的施設としてあるまじき行為である。

【回答 5-2】 「箱もの」の建設請負業者への丸投げについて

（建設工事の業務委託に関するご意見の場合）民間委託を行う業務につきましては、今後慎重に検討してまいります。

5-3 交通について

【意見 5-3】 交通について

- ・図書館への交通手段が少ないため、最寄り駅からの往復デマンドバスの設置
- ・自家用車がないと行きづらい場所に存在しているので、交通手段について、これを機に整備したらどうか。
- ・車を持たない世代である小学校から高校生、高齢者の移動に問題がある。
- ・ある程度は自転車で移動可能だと思うので、必要な人には交通 IC による定額制の巡回バス、タクシー。費用等問題はあるが、現実的なユースケースを考慮して、図書館としてだけでなく他の地域も含めてどうすれば活性するか他の成功例も参考に検討してほしい。
- ・活性化したまちづくり、目的のあるまちづくりの検討を

【回答 5-3】交通について

図書館への交通手段の整備につきましては、現在の状況を踏まえると、大変難しい問題であると考えておりますが、今後、可能性について探ってまいります。

5-4 佐久新校再編実施計画案と図書館建替構想について

【意見 5-4】佐久新校再編実施計画案と図書館建替構想について

佐久新校再編実施計画案と図書館建て替え構想は一緒に考えても良いのではないかと

・佐久新校候補地も最寄りの中込駅からは遠く、学生にとっては利便性が悪い場所

「学校づくりはまちづくり」の考え方の元、佐久新校に将来通う子ども達の未来や利便性を考えて、佐久市立中央図書館の建設は慎重に進めて頂きたい。

・新海誠監督の新映画館が中込駅に今年4月着工へ向けて動き出している。併せて、中込駅周辺の活性化も見込めると予想している。未来の佐久新校には、優秀な学生達が集まるような東信地区の人気校になって頂きたい。そんな願いを込めて、新たな図書館を構築して頂きたい。

【回答 5-4】佐久新校再編実施計画案と図書館建替構想について

佐久新校再編につきましては、令和11（2029）年度開校に向け、県が施設整備基本計画の策定作業を進めています。

計画では、野沢北高の校地を拡幅して新校を置く、としていますが、新校の生徒に市立図書館を活用していただくための取組について検討していきたいと考えております。

（４）意見を受けて修正した箇所

いただいたご意見に基づいて、下記のとおり修正しました。

1-1 正しい情報を取捨選択できる力の育成

【意見 1-1】正しい情報を取捨選択できる力の育成

P23 6つの基本方針

・ネットで真偽不明の情報や意図的なフェイク情報が飛び交う時代に、その中から正しい情報を取捨選択できるスキルは市民が生きていくうえで最も大切な力の一つだと思う。その力を育てるのは図書館の重要な役割だと思うので、「基本方針3」の中にそのことを記載してほしい。

【回答 1-1】正しい情報を取捨選択できる力の育成

膨大な情報が氾濫する現代社会において、正しい情報を取捨選択する力は必要不可欠となっています。基本方針3の文章の中に情報リテラシーについて記載します。

修正箇所	修正前	修正後	修正理由
23 ページ（基本方針3）図書館は生きる力を育む場 5 行目	子ども読書活動の推進もその一つです。	子ども読書活動の推進もその一つです。 <u>また、市民が生きていくうえで必要な情報リテラシー獲得の手助けを</u> します。	情報リテラシーについての記載を追加

1-2 基本方針を実現するための基盤整備

【意見 1-2】基本方針を実現するための基盤整備

P24 基本方針を実現するための基盤整備

- ・図書館の価値を決める最も大切な要素は、建物のつくりや立地以上に、そこで働く職員の専門性だと思うので、専門的なスキルを持つ司書の配置や育成方針について、ぜひ書き込んでいただきたい。
- ・新図書館を引っ張っていく立場の館長が思う存分手腕を発揮できるよう正規職員として任用してほしい。

【回答 1-2】基本方針を実現するための基盤整備

現在の図書館活動を活発にし、新図書館の準備を進めていくためには、司書資格のある職員の配置や職員の資質向上を図るなど、体制を整えていくことが重要です。その内容について素案の本文に記載します。

新図書館建築を控え、図書館長は改革をリードしていく大きな役割を持っており、任用につきましては慎重に検討してまいります。

修正箇所	修正前	修正後	修正理由
24 ページ 5 基本方針を実現するための基盤整備 1～2 行目	基本方針を実現するためには、資料や施設・設備の整備や図書館サービスの計画のほか、 <u>管理運営や職員配置・研修等の基盤整備</u> が必要です。	基本方針を実現するためには、資料や施設・設備の整備や図書館サービスの計画のほか、 <u>管理運営や専門的な知識や技術を持つ司書職員の配置、資質向上を図る研修の継続的な実施、様々な分野に視野を向けた連携等の基盤整備</u> が必要です。	司書の配置や育成方針についての記載を追加